



夏休みの本の貸出



発行
平戸市立平戸小学校
文責 校長 永田健治

児童数 349名
教職員数 34名

創立149周年



発行：平戸市立平戸小学校 〒859-5121 平戸市岩の上町1509番地 TEL：0950-22-9230
E-mail：hirado-syo@educet03.plala.or.jp ホームページ：平戸市立平戸小学校」で検索



明日から

42日間の夏休み

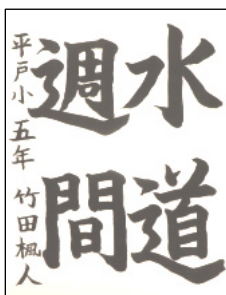


長崎県の梅雨明け（平年は7月19日頃）の、正式な発表が待ち遠しい今日この頃です。さて、本日、終業式を行いました。1学期が大きな事故・事件なく過ごせたことや、子供たちの成長する姿を間近に見ることができ

水道週間コンクール入賞者

毎年6月1日から7日を水道週間とし、「水の大切さや水道に対する理解を深めること」を目的にさまざまな取組が行われていきます。

第65回水道週間平戸市作品コンクールでは、本校から10名の児童が入賞しました。子供たちにとって、普段、当たり前に飲んだり、使ったりしている水道のありがたさを見つめ直す、よい機会になったことと思います。



習字（高学年の部）
最優秀 5年 竹田 楓人くん
優秀 6年 後藤 逢琉さん
佳作 6年 山口 結愛さん
ポスター（高学年の部）
優秀 4年 俵屋 瑛守くん

申し上げます。明日からは、42日間の夏休みに入ります。普段の学校生活ではできない体験や活動、学び、遊びをとおして、さらに一回り成長した子供たちと再び会えることを楽しみにしています。



通知表の見方

【学習の様子】は目標に準拠した評価、いわゆる絶対評価を取り入れています。

昭和から平成初期頃までは、相対評価が主流でしたので、学級集団の中で「◎」「○」「△」の人数の割合があらかじめ決められていました。また、属する学級集団のレベルによつて個人の評価が大きく変わってしまい、個人の成長をみることに難しい評価方法でした。これらの反省から、現在の通知表では、絶対評価が取り入れられています。

絶対評価とは、学級集団の中での相対的な位置づけとは関係なく、児童一人一人の学習状況を、学習指導要領に示す目標に照らし、達成度で評価します。「◎」十分達成しているものと判断されるもの（90%以上）、「○」概ね達成していると判

断されるもの（90%未満）、70%未満の三段階で評価したものです。各評価の人数は決まっています。90%以上達成していれば、人数に関係なく「◎」の評価となります。絶対評価では、子供の個々の能力や成長を重視し、公平な評価を行うことが目的とされています。【生活の様子】は各項目の目標と照らし合わせ、子供の様子について観察による個人内評価を取り入れています。個人内評価とは、他者との比較ではなく、子供ごとのよい点や可能性、進歩の状況などを積極的に評価します。「◎」「○」「△」で行いますが、あくまでも個人内評価ということで、一学期は、その子のなかで「特によい」の「◎」は多くても4個から5個くらいにしています。二学期からは意欲を高めていくために、「◎」の上限を増やしていく予定です。

中学生職場体験



7月5日(水)～7日(金)の3日間、平戸中学校の2年生3人が平戸小学校に職場体験に来てくれました。主に低、中学年の子供たちのプリントの○付けや、水泳指導の手伝い、休み時間の遊びなどを体験しました。中学生はとても人前で、廊下を歩くときはカルガモ親子のように数十人の子供たちを引き連れていました。「将来は教職を目指しますか?」の質問に「はい!」との返事。将来の教師として平戸の未来を担う子供たちの前に立ってほしいです。3人の感

想です。田渕さん「みんなと話したり、外で遊んだりしたことが印象に残っています。」北村さん「昼休みや休み時間にたくさん話してくれたいと思います。」鈴木さん「みんなと話するのが楽しかったです。」

〇〇税って何?

7月6日(木)、平戸商工会議所経営指導員の大坪さん、千葉さんを講師として6年生を対象に租税教室を行いました。ビデオ「税のない世の中」なども視聴しながら、税の種類、税の使いみち、税の役割、税の必要性等について、分かりやす



くお話していただきました。今の暮らしが当たり前のようにできるのは税金のおかげであることをしっかりと学びました。最後には租税教室定番の「1億円(見本)」を持たせてもらい、大盛り上がりで学習を終えました。令和4年の全国での

着衣泳でしめくり

水難は、発生件数1,346件のうち死者・行方不明者727人。中学生以下は、発生件数104件で死者・行方不明者26人でした。死者・行方不明者72人について、発生場所別にみると、多い順に海363人(約50%)、河川245人(約34%)であり、行為別にみると、多い順に魚とり・釣り186人(約26%)、作業中46人(約6%)でした。中学生以下の死者・行方不明者26人について、発生場所別に

みると、半数以上が河川14人(約54%)であり、行為別にみると、最も多いの水遊び11人(約42%)でした。本校でも、水泳指導の最後には各学年、着



衣泳を行うとともに、「子供だけで泳ぎに行かない」、「おぼれている人がいたら、大人を呼びに行く」など、水難事故に対する安全指導を行っています。楽しい夏休み、水の事故が1件もないことを願っています。



13

7月(一)

交通少年団

夏の出番

木)、14日(金)、全国夏の交通安全週間(7/14～7/20)の取組として、交通少年団が出動しました。暑いなか車の中から応援してくださり、ありがとうございました。また、保護者の皆様にも一緒に立哨していただき感謝しております。夏の交通安全週間の重点目標は「こどもを始めとする歩行者の安全の確保」「自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守」



の徹底」「飲酒運転の根絶」特に、自転車のヘルメット着用が努力義務化となりました。子供たちには従来からヘルメット着用を指導していますが、保護者の方にもこれを機会に命を守るためヘルメット着用はいかがでしょうか。

保育園

交流会

7月12日(水)、しおかこども園、愛の園保育所、みのりこども園の年長さんが、本校体育館で交流会を行いました。



冷房が効かない体育館で申し訳なかつたのですが、三園の子供たちは、ゲームなどをおして仲良く楽しい時間を過ごしていました。次年度の本校入学予定者数は50人の予定です。